

製品名: リン酸化 RSK1 p90 (Thr359/Ser363) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84845**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 83 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-RSK1 p90 (Thr359/Ser363) RPS6KA1; MAPKAPK1A; RSK1; Ribosomal protein S6 kinase alpha-1; S6K-alpha-1; 90 kDa
別名	ribosomal protein S6 kinase 1; p90-RSK 1; p90RSK1; p90S6K; MAP kinase-activated protein kinase 1a; MAPK-activated protein kinase 1a; MAPKAP kinase 1a; MAPKAP
遺伝子 ID	6195.0
SwissProt ID	Q15418
免疫原	ヒト RSK1 p90 の Thr359/Ser363 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

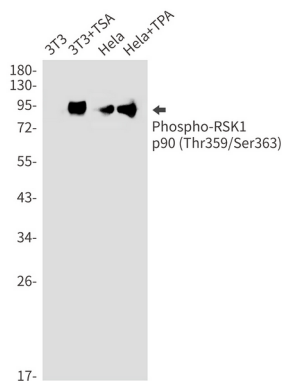
背景

Rsk1 は、Rsk1、Rsk2、Rsk3 を含む 90kDa リポソームタンパク質 S6 キナーゼファミリーのメンバーです。これらは広く発現しているセリン/スレオニンタンパク質キナーゼであり、細胞外シグナル制御タンパク質キナーゼである Erk1 および Erk2 などの分裂促進刺激に応答して活性化されます。Rsk1 は in vitro および in vivo において MAPK によってリン酸化を介して活性化されます。活性型 Rsk は核に移行し、c-Fos および CREB をリン酸化することで転写制御において主要な役割を果たすと考えられています。

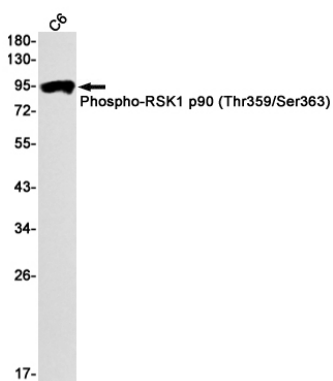
研究分野

mTOR シグナル伝達経路

画像データ



Phospho-RSK1 p90 (Thr359/Ser363) 抗体を使用した 3T3、3T3+TSA、HeLa、HeLa+TPA 溶解物中の Phospho-RSK1 p90 (Thr359/Ser363) のウエスタンブロット分析。



Phospho-RSK1 p90 (Thr359/Ser363) 抗体を使用した C6 溶解物中の Phospho-RSK1 p90 (Thr359/Ser363) のウエスタンブロット分析。